



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社プラザクリエイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁

TEL 03-3532-8812

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	9,721	4.3	585		562		621	
30年3月期第2四半期	9,313	0.5	714		719		731	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 621百万円 (%) 30年3月期第2四半期 736百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	48.40	
30年3月期第2四半期	57.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	11,902	1,600	13.4	124.70
30年3月期	13,565	2,339	17.2	181.34

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,598百万円 30年3月期 2,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		7.00	7.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	0.8	300	390.0	300	220.3	200		

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	13,836,258 株	30年3月期	13,836,258 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,016,701 株	30年3月期	946,801 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	12,844,496 株	30年3月期2Q	12,769,238 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、プリント事業におきましては、第1四半期より継続してまいりました1枚から作れる「デザインTシャツ」、ならびに「なんでもダビングサービス」共に前年を上回る受注実績となり、「なんでもダビングサービス」におきましては、販売実績の一部が第3四半期に繰り越される状況となりました。引き続き直営店からのフランチャイズ化に注力した一方で、今年7月より、デジタルプリントの基本料新設など販売価格の見直しを実施いたしました。日本全域で発生した記録的な猛暑や豪雨、北海道胆振地方の地震や台風など大規模な自然災害などの影響もあり、既存店前年同期比 93.3%となりました。

モバイル事業におきましては、昨年同様に通信キャリアの販売施策に基づき端末販売に注力するとともに、店舗運営力の強化に取り組んでまいりました。店舗数の増加に伴い販売台数も堅調に増加しております。

その他、業務効率の改善、省力化などを目指し、クラウド会計システムなど社内システムの刷新を予定通り実施いたしました。また、クラウド系チャットツールの導入により、スピーディーな社内コミュニケーション、リアルタイムな情報伝達の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、97億21百万円（前年同期比4.4%増）となりました。利益面では、営業損失5億85百万円（前年同期：営業損失7億14百万円）、経常損失5億62百万円（前年同期：経常損失7億19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失6億21百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失7億31百万円）となりました。

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業別セグメントに関する業績評価を行うために使用している財務指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。これに伴いセグメントの業績については、売上高及び営業利益を記載するとともに、営業利益の前年同四半期比較については、遡及適用後の前年同四半期の営業利益と比較を行っております。詳細は9ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

セグメント別では、プリント事業は、売上高30億27百万円（前年同期比11.5%減）、販売費及び一般管理費の抑制による効果などがありましたが、セグメント損益は6億26百万円の損失（前年同期：6億34百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高66億94百万円（前年同期比13.6%増）、店舗数の増加に伴う原価及び人件費等のコストの増加などがありましたが、セグメント利益は26百万円（前年同期：77百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の前連結会計年度の数値と比較・分析を行っております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は119億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億62百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が12億18百万円、受取手形及び売掛金が5億34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は103億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億23百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が5億10百万円、支払手形及び買掛金が1億66百万円、リース債務が1億17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は16億円となり、前連結会計年度末に比べ7億38百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失6億21百万円、配当金の支払額90百万円などにより利益剰余金が7億11百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の17.2%から13.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ12億18百万円減少し、5億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が6億48百万円増加し1億80百万円の支出（前年同期 4億67百万円の収入）となりました。主な要因は、仕入債務の増減による支出の増加2億99百万円、たな卸資産の増減による支出の増加2億88百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億89百万円増加し3億48百万円の支出（前年同期 1億59百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の売却による収入の減少1億97百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が2億31百万円減少し6億88百万円の支出（前年同期 9億19百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入金の借入れによる収入の増加2億50百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月11日公表の業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化が生じた場合は、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,795,026	576,372
受取手形及び売掛金	2,029,231	1,494,392
商品及び製品	1,476,910	1,390,314
原材料及び貯蔵品	117,168	170,951
その他	693,726	904,408
流動資産合計	6,112,063	4,536,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,532,630	2,637,432
減価償却累計額	△983,391	△1,030,670
建物及び構築物（純額）	1,549,238	1,606,762
機械装置及び運搬具	2,348,368	2,181,453
減価償却累計額	△2,182,672	△2,052,861
機械装置及び運搬具（純額）	165,695	128,592
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,945,727	1,986,044
減価償却累計額	△624,747	△805,098
リース資産（純額）	1,320,980	1,180,946
その他	1,064,148	1,048,521
減価償却累計額	△752,649	△727,397
その他（純額）	311,498	321,123
有形固定資産合計	4,858,661	4,748,673
無形固定資産		
のれん	107,394	94,660
リース資産	127,305	147,780
その他	257,309	271,444
無形固定資産合計	492,010	513,885
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,761,673	1,782,564
その他	351,628	332,966
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	2,101,011	2,103,240
固定資産合計	7,451,683	7,365,798
繰延資産		
社債発行費	1,646	634
繰延資産合計	1,646	634
資産合計	13,565,393	11,902,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,384,614	1,218,300
短期借入金	2,632,316	2,751,115
1年内償還予定の社債	80,000	25,000
リース債務	441,113	459,716
未払法人税等	13,218	6,610
賞与引当金	124,735	127,213
その他	1,288,194	1,083,357
流動負債合計	5,964,193	5,671,312
固定負債		
長期借入金	3,416,085	2,905,973
リース債務	1,225,151	1,089,340
資産除去債務	206,385	207,099
退職給付に係る負債	99,446	96,534
長期預り保証金	253,090	272,874
その他	61,816	59,379
固定負債合計	5,261,975	4,631,201
負債合計	11,226,169	10,302,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,302,413	590,515
自己株式	△295,807	△322,509
株主資本合計	2,335,101	1,596,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,378	2,113
その他の包括利益累計額合計	2,378	2,113
新株予約権	1,744	1,744
純資産合計	2,339,224	1,600,359
負債純資産合計	13,565,393	11,902,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	9,313,553	9,721,571
売上原価	6,137,113	6,574,724
売上総利益	3,176,440	3,146,846
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	318,103	357,962
給料手当及び賞与	984,207	1,006,399
賞与引当金繰入額	134,302	125,722
雑給	564,791	487,541
賃借料	607,720	612,885
のれん償却額	24,659	23,271
その他	1,257,390	1,118,373
販売費及び一般管理費合計	3,891,175	3,732,155
営業損失(△)	△714,734	△585,308
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,038	1,410
協賛金収入	6,670	42,778
償却債権取立益	10,645	1,800
その他	14,559	14,602
営業外収益合計	32,914	60,592
営業外費用		
支払利息	31,117	34,550
その他	6,790	3,281
営業外費用合計	37,907	37,831
経常損失(△)	△719,728	△562,547
特別利益		
固定資産売却益	18,089	12,615
投資有価証券売却益	8,872	—
特別利益合計	26,962	12,615
特別損失		
減損損失	14,730	49,893
店舗閉鎖損失	16,590	2,805
その他	—	15,000
特別損失合計	31,321	67,699
税金等調整前四半期純損失(△)	△724,088	△617,631
法人税、住民税及び事業税	8,799	6,610
法人税等調整額	△1,048	△2,569
法人税等合計	7,750	4,040
四半期純損失(△)	△731,838	△621,672
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△731,838	△621,672

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△731,838	△621,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,047	△264
その他の包括利益合計	△5,047	△264
四半期包括利益	△736,885	△621,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△736,885	△621,937
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△724,088	△617,631
減価償却費	326,318	361,884
減損損失	14,730	49,893
のれん償却額	24,659	23,271
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,066	△2,912
受取利息及び受取配当金	△1,038	△1,410
支払利息	31,117	34,550
固定資産売却損益(△は益)	△18,089	△12,615
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,872	—
売上債権の増減額(△は増加)	447,023	534,838
たな卸資産の増減額(△は増加)	321,559	32,812
仕入債務の増減額(△は減少)	132,990	△166,313
未収入金の増減額(△は増加)	44,018	△112,768
前払費用の増減額(△は増加)	△13,479	△104,178
前受収益の増減額(△は減少)	△39,327	△40,527
預り金の増減額(△は減少)	47,153	△50,692
未払消費税等の増減額(△は減少)	△153,784	△56,543
その他	86,306	△4,673
小計	513,133	△133,016
利息及び配当金の受取額	1,037	1,410
利息の支払額	△28,801	△35,591
法人税等の支払額	△17,602	△13,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,766	△180,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△411,208	△312,382
有形固定資産の売却による収入	217,661	19,999
無形固定資産の取得による支出	△42,341	△70,140
投資有価証券の売却による収入	14,216	—
敷金及び保証金の回収による収入	111,848	54,486
その他	△49,621	△40,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,445	△348,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	34,200	179,170
長期借入れによる収入	400,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△1,329,950	△1,220,483
社債の償還による支出	△55,000	△55,000
自己株式の処分による収入	79,200	—
自己株式の取得による支出	—	△26,701
配当金の支払額	△88,211	△89,614
リース債務の返済による支出	△122,631	△210,454
セール・アンド・リースバックによる収入	162,853	84,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△919,540	△688,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	105	△1,415
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△611,114	△1,218,653
現金及び現金同等物の期首残高	2,344,328	1,795,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,733,214	576,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,420,004	5,893,549	9,313,553	9,313,553	—	9,313,553
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,341	—	3,341	3,341	△3,341	—
計	3,423,345	5,893,549	9,316,894	9,316,894	△3,341	9,313,553
セグメント損失 (△)	△634,042	△77,521	△711,563	△711,563	△3,171	△714,734

(注) 1. セグメント損失の調整額△3,171千円には、セグメント間取引消去額2,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,771千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額172,200千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において14,730千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,027,249	6,694,322	9,721,571	9,721,571	—	9,721,571
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,027,249	6,694,322	9,721,571	9,721,571	—	9,721,571
セグメント利益又は損失(△)	△626,573	26,228	△600,345	△600,345	15,037	△585,308

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額15,037千円には、セグメント間取引消去額700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,862千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額199,200千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業別セグメントに関する業績評価を行うために使用している財務指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、当社グループの本社機能については、グループ全体の戦略的なマネージメント機能を担い、事業会社の責任と権限の明確化を図ることとしたため、従来、報告セグメントに帰属しない一般管理費は、事業の規模に応じて各報告セグメントへ配賦しておりましたが、各セグメントへの配賦を行わずにセグメント利益の調整額に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント損失の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において24,630千円、「モバイル事業」において25,263千円であります。